

Weekly Bulletin 2013-2014



RI会長
ロンD.バートン



ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

静岡東ロータリークラブ

会長/高柳正雄 幹事/高田雅司

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
高柳正雄



第 2642 回例会

平成 25 年 11 月 7 日 天候 曇り

- 《司 会》 高田雅司 君
- 《合 唱》 「君が代」 「奉仕の理想」
- 《BGM》 「結婚記念日のうた」
- 《ゲスト》 2006~2007 国際親善奨学生 原功さん
- 《ビクター》 北島俊秀 君(静岡西RC)

《本日のお祝い》

お誕生日
なし

結婚記念日

- 11月7日 杉山明喜夫 君
- 11月10日 古橋剛俊 君
- 11月12日 長島秀親 君

《会長挨拶要旨》



今月はロータリー財団月間です。私はこの分野について余り知識を有しないので多くを語れませんが、財団の奨学金事業及び人道的諸事業についての知識と理解を深め

財団の推進に役立つプログラムを実施する月間です。

10月24日のweb記事で歌舞伎俳優の松本幸四郎さんが国立劇場で公演中に客席に転落したことを知りました。馬の前脚を務める黒子がよろけ、馬上の幸四郎さんがバランスを崩して、約2.5メートル下の客席に転落したということのようです。幸い大怪我にはなりませんでした。昨年8月長男の市川染五郎さんが約3メートルの奈落に転落して大怪我を負ったのにつづく事故でした。

幸四郎さんには一つの思い出があります。

大学一年生のときに、ミュージカル「ラ・マンチャの男」を観ました。思い起こせばそれは1969年で初演の年だったことになります。ドン・キホーテはもちろん市川染五郎(今の幸四郎さん)アルドンサは草笛光子

でサンチョが小鹿番でした。このとき染五郎はまだ27歳、草笛光子とともに素晴らしい演技を披露しましたが、サンチョの小鹿番がコミカルな演技で妙に舞台を引き締め印象に残る存在感を示していました。「ラ・マンチャの男」は昨年で公演1,200回を超えましたがそのときはこれがそんな長期間に亘る上演になるとは想像さえしませんでした。

劇中でドン・キホーテが言います。「理想ばかり追って現実を見ないのが狂気なら、現実ばかり見て理想を追わないのもまた狂気である」。その言葉は18歳の私の心に深く刻まれました。

また『見果てぬ夢』は本作品のテーマとして中盤でドン・キホーテが朗々と歌い上げ、ラストでも出演者全員で大合唱されますが、英語では何と言うのだろうと思っていたら(The Impossible Dream)だそうで、なるほどお洒落な訳し方をするものだと感心した覚えがあります。

先日の転落した花道は幅約1.5メートル、長さ約20メートル。よろいと幸四郎さんの体重を合わせた重さは約100キロで、刀の柄が折れるほどの衝撃でした。当然客席にも危険が及ぶことになります。幸いお客様に怪我はなく、転落した幸四郎さんが花道によじ登って最初に発した言葉は「馬くん大丈夫か?」だったとか、また共演していた息子の染五郎さんがうまく芝居をつないでくれたと褒めるところなど、思わず目を細めたくります。

44年前のあのとき、私はある女子学生と一緒に観劇したのですが、詳細は割愛させていただきます。松本幸四郎さんの益々のご活躍をお祈りいたします。

《次年度理事・役員候補者発表》

- | | |
|----------|---------|
| 伊藤 洋一郎 君 | 高柳 正雄 君 |
| 杉山 明喜雄 君 | 相原 雄治 君 |
| 足羽 祐治 君 | 串山 正幸 君 |
| 杉本 幸子 君 | 杉田 至弘 君 |
| 望月 康弘 君 | 曾根 正弘 君 |
| 由利 浩志 君 | 川口 尚宜 君 |
| 中田 盛之 君 | 新聞 桂子 君 |

《地区ロータリー財団セミナー報告》

ロータリー財団・米山委員会 上田直弘 君



11月はロータリー財団月間ということで9月8日に開催されました、地区ロータリー財団セミナーの報告をさせていただきます。第一部では6つの委員会から活動報告がありました。

私は財団学友小委員会の委員長を拝命しており、国際親善奨学生とGSEの方の山静学友会での活動フォローを行っています。この取り組みは「山静学友会誌」で11月30日の日本ロータリー学友会全国大会で紹介させていただく予定にしております。第二部では地区補助金活動についてですが2013～2014年度の地区補助金総額は9,091,962円。静岡東RCでは静岡南部支援学校 学童の学習活動の支援プロジェクトで43,900円を補助いただきます。

これまで国際親善奨学生とGSEのプログラムにおいて、私ども静岡東RCでは、奨学生を12名、GSEを5名派遣してきましたが、「未来の夢計画」で廃止となったため、今地区ではグローバル補助金での奨学生派遣を検討しています。

さて、本日の来賓卓話ですが2006～2007年度の国際親善奨学生の原功様をお願いしております。原様どうぞ宜しくお願いします。

《来賓卓話》

「国際親善奨学生による国際親善とは」

2006～2007 国際親善奨学生 原 功 氏



私は2006～2007年度の国際親善奨学生として山梨県の北杜RCから推薦され、イギリスのUniversity of Newcastle upon Tyne(ニューカッスル大学)に派遣されました原功と申します。

本日は国際親善奨学生がどんな国際親善ができるのかまたできたのかをお話しします。私が派遣された大学は、学生数17,000人、その8%は留学生です。前身は医学部大学でした。赤レンガ造りの大変歴史のある大学でした。日本とイギリスの大学院では仕組みが大きく異なります。日本の大学院の入学は、筆記試験口頭審問、合否判定の後に研究テーマを作成しますがイギリスの場合は、最初に研究計画を立て、指導教官(になるであろう方)に打診をし、内諾を得てから必要書類を送ります。ですから指導教官のテーマと合わない研究計画を立てた場合、どんなに優れていても撥ねられてしまいます。そのため国際親善奨学生は何人も選ばれましたが、残念ながら入学できず辞退者が出てしまいました。また博士課程においても、日本は科目履修以外に教官の助手や指導的な役割が求められる一方、イギリスにおいては自分の研究のみで在籍期間をかけて論文を書き上げることが要件となります。

さて、そんな環境の中でどのように国際交流を図ってきか。まず大学では、留学生が多様な国からやって

いるので時折パーティーなどを開き、それぞれの国の料理などで交流を図りました。またロータリー財団の奨学生としては、ホストクラブの行事、地区内のクラブへの訪問、地区大会・ロータリー主催行事への参加などをして国際交流に関わってきました。またホストカウンセラーとは自宅で開催されるパーティーを通して交流していました。次いで地域の人たちとの交流はGlobe Caféという英語のみしか話せない場で図っていました。また、趣味のジョギングを通して、マラソンへの参加や、ジョギングアシスタントなどをすることにより、地域の方との交流を図ってきました。

その他にも様々なところに国際交流の種がありました。但しイギリスの文化をすべて受け入れたわけではなく、食べ物を粗末にする慣習は残念ながら受け入れることはできませんでした。他にも必ずしも受け入れるものばかりではありませんでした。逆に日本人として伝えたことも多数ありましたが、なかなか理解はしてもらえず、交際交流の難しさを実感した次第です。私の話は以上となります。ご清聴ありがとうございました。

《スマイル報告》

上田直弘 君 11月はロータリー財団月間ということで、本日の来賓卓話に2006～2007年度の国際親善奨学生の原さんに東京の高円寺からわざわざ来ていただきました。イギリスでの体験談をお話しいただけるとのことで、原さんに感謝して、スマイルします。

杉山明喜雄君 結婚記念日のお花ありがとうございます。家内が大変喜んでおります。感謝してスマイルします。

古橋剛俊 君 10日は結婚記念日です。毎年きれいな花をありがとうございます。今年はどんな花が届くのか楽しみです。

川口尚宜 君 先日、森下会員、戸塚会員と何年かぶりでテニスをしました。お二人ともお上手で、よい汗をかきました。お二人に感謝してスマイルします。

松下陸朗 君 11月1日結婚記念日に可憐な花を頂き有難うございました。亡き妻の仏前に供えさせていただきました。有難うございました。

神野一成 君 大変長い間休ませていただきまして大変ご迷惑をおかけしました。また年末にはベトナム・タイに2週間行く予定でクリスマス会に出れないことを心苦しく思っております。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
11/7	57(55)	45	10	-	-	-
10/31	57(55)	40	15	-	-	-
10/24	57(56)	47	8	4	4	91.07%